

広報みなかみの企画編集及びデザイン版下作成業務／プロポーザル審査 評価基準

評価項目	評価内容	着眼点	評定点
1. 実施の体制等	(1) 年12回の企画・編集・デザイン等ができる体制が整っているか (2) 作業工程は無理のない日程になっているか (3) 広報紙等の作成に携わった実績が十分にあるか (4) 経費配分は無理のない内容になっているか	<input type="checkbox"/> 自治体発行物である広報みなかみは、極力誤った情報掲載を避け、短期間で正しい内容の発行物を作成する必要がある。 そのための発注者および受注者のスケジュールバランスが取れているか、複数の人が関わり確認をできる体制か、他見積価格に対するサービスは適当かなどを評価する。	40点満点
2. 企画・編集・デザイン・レイアウト	(1) 町民の立場に立って、わかりやすい言葉・文章構成で記事を作成しているか (2) 独自性があり、手に取りたくなるデザインになっているか (3) みなかみ町全体のイメージ向上に寄与するデザインになっているか (4) 段組等のように読み進め方が明確になっているか (5) 文字の大きさ、行間のバランス、見出しの使い方など読みやすさに配慮したレイアウトになっているか (6) 写真・イラストを効果的に使用しているか (7) 表・図を効果的に使用しているか (8) 読み手にとって読みやすい色使いになっているか	<input type="checkbox"/> 広報みなかみから行政情報を得ている町民は多い。ゆえに幅広い年代が手に取り、わかりやすく、必要な情報を読み取れるようにする必要がある。 そのため、町民の視点でわかりやすい言葉を選んでいるか、理解しやすい表やグラフの作成ができるか、フォントや文字サイズに配慮しているかなどを評価する。 <input type="checkbox"/> フルカラー印刷による多数色使いができる反面、統一感に欠ける場合があるので、イメージカラーやテーマカラーをベースにした統一感を持って作成されているか、見出し部分の装飾は目につきやすいかなどを評価する。 <input type="checkbox"/> 写真やイラストの使い方は適正かなどを評価する。	80点満点
3. 事業計画	(1) 事業計画において重視するポイントが実現性の高いものになっているか (2) 事業計画の中に町のイメージアップに寄与する意識が見られるか	<input type="checkbox"/> 広報紙の作成を担当する自治体職員は、デザインや編集において専門的な知識や経験不足による作業時間の拡大や相談役がないなどの悩みを持っている。質の高い印刷物を継続して発行していくには、共通理解を深めて業務を円滑に進める必要がある。 そのため、受注者側の重視するポイントが自治体広報紙の作成における目的や重点、注意点を理解しているかなどを評価する。 <input type="checkbox"/> 本町が発行するものとして、良いイメージが得られるものかなどを評価する。	20点満点
4. 提案	(1) 本町にとって有意義な、事業に対する新たな提案となっているか	<input type="checkbox"/> 企画・製作・印刷の専門家として、多くの経験と実績を持つ受注者は、本町広報誌の発行にあたり、企画から配布の流れの中で改善できる提案、イメージ向上に有効な新たな提案ができていないかを評価する。	10点満点
5. 校正	(1) 再校を作成するにあたりどのくらい時間がかかるか（校正例参照）	<input type="checkbox"/> 初稿完成後、別紙校正例の修正部分を再校に反映させるにあたり、再校を作成する迅速さを評価する。	10点満点
6. 修正対応	(1) 臨機応変な修正対応ができるタイミングはいつまでか（校正例参照）	<input type="checkbox"/> 別紙校正例のような記事差し替えの事態が発生した場合に、どのタイミングまで対応できるかにより、臨機応変な修正対応ができるかを評価する。	10点満点
7. コスト	(1) 配点（10点）×（全企画提案者中最低見積金額）／（当該企画提案者見積金額）小数点以下切り捨て		10点満点
小計			180点
合計	180点×審査員3人		540点満点